

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1 会 議 名 関高等学校 学校運営協議会 (第2回)

2 開催日時 令和7年10月31日(金) 13時00分～15時30分

3 開催場所 関高等学校校長室

4 参 加 者	会 長	大野 正博	朝日大学法学部教授
	副 会 長	村井 義史	本校同窓会副会長
	委 員	福田 恵介	福田刃物工業株式会社取締役
		平田 久美子	平田建設株式会社取締役
		衣斐 七海	関市産業経済部観光課
		檀上 達也	本校PTA会長

学 校 側	中原 泰男	校長
	堀 卓也	教頭
	植田美智留	教頭
	岸 正美	事務部長
	進 晶彦	教務主任
	廣瀬 志穂	生徒指導主事
	田代 寿文	進路指導主事
	林 直樹	研究推進部長
	松野 恭介	特別活動部長

5 会議の概要(協議事項)

本日の日程確認、及び各分掌の進捗状況の中間報告を行った後、5限に授業参観を実施。その後、教頭より学校評価アンケートの結果分析と学校改革・働き方改革についての説明を行い、全体に関して委員各位との質疑応答・意見交換を実施した。

意見1 学校評価アンケート「体罰やハラスメントはない」の項目について、肯定的回答が84.3%だが本来は100%であるべきだ。世代間の感覚のずれ、言葉の捉え方の差など、難しいが、生徒は敏感であるので気を付けていただきたい。

意見2 施設の老朽化について、危険な箇所には修繕のための予算措置をしていただきたい。

意見3 「学校の情報発信」の項目に否定的評価があるのは「重要なことだけを教えてほしい」という保護者の意見の現れかもしれない。今は情報があふれており、「そんなことまでよいのに」という内容の通知が多くならないような配慮もお願いしたい。

意見4 「臨時休校時のICT利用」の項目について自律した学習者を育成したいという学校の願いがあるのなら、この項目の質問の仕方についても検討が必要ではないか。

質問1 授業参観ではグループ学習が多く、スマホを効果的に使う授業、三線を演奏する音楽等、多様な学習方法がとられ

ており、良い学習環境であると感じた。グループ学習による効果を先生方としてはどう見ているか。

回答 1 興味や関心を持つ生徒が増え、授業アンケート結果がよくなった。授業への参加率もよくなる。

意見 5 グループ学習の生徒一人ひとりの表情が良く、全員参加している印象だった。人との結びつき、チームワークを積み重ねることが社会に出てからアドバンテージになる。1, 2 年生にはそうした経験を増やしてやってほしい。

意見 6 タブレット使用が意外に少なく、紙とペンで書く授業も行われていたことに安心した。自分の言葉で書き留めさせることも必要である。社会に出たらレジュメをもらえない。一方でプリントの量が多く、作成される先生方の負担を心配している。

意見 7 学校評価アンケートのハラスメントに関する項目の否定的回答が気になる。子どもの受け止め方にも個人差がある一方で、何がハラスメントに当たるのかがあいまいなままで回答しているのではないか。

回答 2 県が別途実施したハラスメント調査では、問題があるという報告はなかった。職員も配慮して指導しているが、受け止め方の個人差から発する問題は生徒間でも生じており、指導の過程の細かいやり取りの中で不快に感じたことをハラスメントと捉えてしまう場合はある。ただ、これまで調査、確認した結果では、これはハラスメントだということはなかった。

意見 8 長年運営協議会委員をやっているが、関高は常に変化している。学校は社会人になるための準備機関であり、社会には理不尽なことが多いものである。コスパを考えて 70 点で満足してしまう若者もいるが、残りの 30 点を目指して難問にチャレンジする力、多少の困難を乗り越える力を持つことが、個人にも企業にも必要になる。

意見 9 様々な活動を生徒中心にやらせているところが大変良い。たとえうまくいかなくても、挑戦して失敗することには意味がある。失敗しても前向きな思考で終わるような指導を先生方にはお願いしたい。

意見 10 高校見学会で、生徒による説明を行っていることは、中学生にとっても高校生にとっても良いことである。

意見 11 タブレット利用により、かえって読み書きに苦勞する学生が増えている。そのため、災害時に備え、公務員試験に記述問題をあえて増やす自治体もある。一方で CBT 方式のテスト対策に PC の使用は必要である。タブレットと手書きについて、どのようにバランスを取りながら指導していくかの工夫がいる。

意見 12 学校説明会において、学校側も力を入れている探究学習と大学進学や総合型推薦入試を連結させて話をすると、中学生の印象がさらによくなるのではないか。

意見 13 ヘルメット着用義務化について生徒間で議論させる等、交通安全意識の向上を狙った素材として生かすといふ。

6 会議のまとめ

第 2 回学校運営協議会では、「総合的探究の時間」ではなく、一般教科の通常授業を参観していただき、本校生徒の日常の様子や授業風景を見ていただくよい機会となった。アンケートや報告も踏まえて、本校の指導に関して評価していただくとともに、改善、工夫すべき点についてのご意見や、生徒の将来まで視野に入れたご助言を数多くいただいた。